



全国芽生会連合会

NO. 10

2024. 5. 20

ホームページ：<https://mebaekai.com/>

『令和6年度 関東甲信ブロック会議』

令和6年5月11日(土)「水たき玄海」 東京都新宿区新宿 5-5-1

会議内容

5月11日(土)東京芽生会主管の関東甲信ブロック会議が51名の参加者で開催され、次期理事長に土屋兵衛氏(金沢芽生会)が選出されました。

また第70回全国芽生会連合会京都大会について佐竹実行委員長より大会内容の動画PR、説明がありました。次期ブロック長は福田貴之氏に決定し、開催を栃木芽生会が主管はすることになりました。

パネルディスカッションでは、山口晃平氏(関東甲信ブロック長)の司会で堀井良教氏(更科堀井)、村松毅氏(室町砂場)の両氏による「江戸前そばについて」の意見交換が行われました。



芽生会リブランディング企画について

令和6年度より始まりました、各地ブロック会議パネルディスカッションは、憧れの芽生会を取り戻すということを基に開催されました。元来、芽生会は純然たる親睦会として全国の日本の料理屋の情報交換、研鑽の場としてクローズに行われてきました。しかしながら、昨今の時代の変化において『芽生会の存在意義』を問われる事が増えてきました。そこで五百木理事長年度としては深い処でクローズであるために、どこまでオープンにした会の魅力を発信する事で若い経営者、新たに日本料理の技術者を目指す方々、日本料理に興味をもたれる世界の方々に、お伝えする方法を模索しました。そこで芽生会の最高の財産である会員による食、芸能、美術などを含めた、お話の場を設けました。第一回目の関東ブロック会議では更科堀井さん、室町砂場さんをお迎えして「江戸から続く蕎麦屋の思想を紐解く」をテーマ蕎麦、猪口出汁、天ぷらなどお話を頂きました。これから東北越など各ブロック会議にも行われ映像としてアーカイブされ世界に発信されます。



懇親会について

懇親会は水たき玄海で開催され、店主の矢野賀也(東京芽生会)氏による創業以来90年伝統のスープ「伊達鶏」の旨味とコクの風味豊かな水たきを堪能し、全国から集まった会員たちの親睦を深めました。



担当：福田貴之